

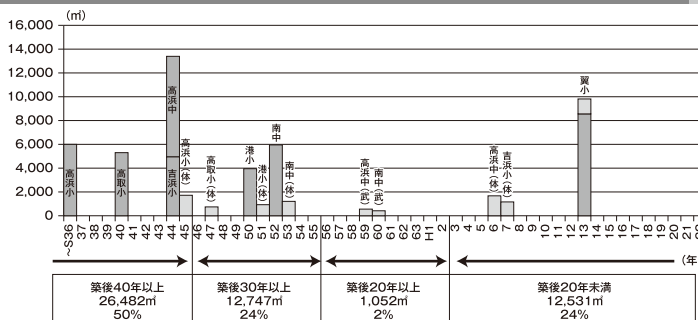
# ～公共施設のあり方を市民とともに考えます～ 公共施設の現状と課題をお知らせします

## 学校・図書館編

### 【学校編①】学校施設の老朽化の状況は？

市の「学校施設」は、小学校5校、中学校2校の計7校で構成され、延床面積は合計5万2,812㎡で市内の公共施設の約42%を占めています。

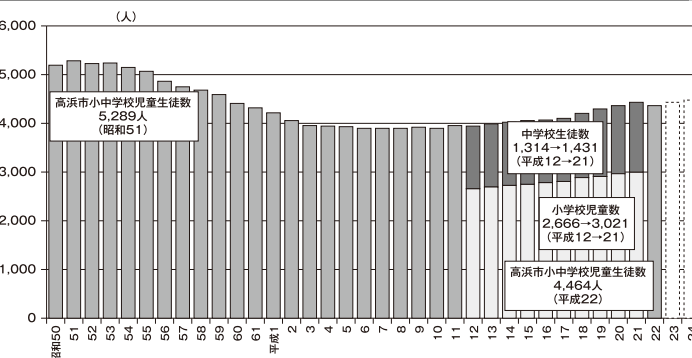
その中で、学校施設の建物の74%が建築後30年以上を経過しており、老朽化の対策が必要です。耐震についてはすべての施設において安全性が確保されていますが、今後は老朽化した建物について、建替えも視野に入れた検討が必要となります。



### 【学校編②】児童生徒数の推移の状況は？

市の小中学校の児童生徒総数は、昭和51年をピークに減少していますが、その後平成12年ごろからは増加傾向にあり、将来予測においても微増と予測しています。全国的な少子化の中で、高浜市の児童生徒数は、ピーク時に対して80%程度の減少にとどまっている状況にあります。

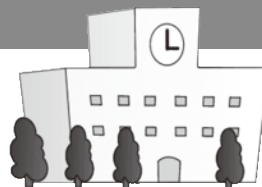
学校施設の検討では、今後の経済情勢などの状況を踏まえ、施設の建替えなどを検討する際には、ほかの用途にも活用可能な構造や設備を検討することが重要です。



### 【図書館編①】図書館の老朽化の状況は？

市の「図書館」は、市立図書館を始め、公民館内にある吉浜図書館・高取図書室、市内の各施設に図書を受け渡し拠点が設置されています。

市立図書館は、市域の南部に位置し、建物は建築後30年以上が経過していますが、耐震の状況においては安全性が確保されています。



### 【図書館編②】図書館の蔵書数や利用の状況は？

市の図書館全体の蔵書数は、平成22年度現在約19.2万冊を所蔵しており、その内の約3割を児童書が占めています。

利用状況については、年間の貸出冊数は約20万冊、貸出者数は、約4万人で1人当たり5冊程度の貸出を行っている状況になります。



◎これらの情報については「高浜市公共施設マネジメント白書 3章 学校施設、図書館」にてグラフなどの詳しい解説を掲載しています。市ホームページまたは経営戦略グループまで問い合わせてください。

## 高浜市公共施設あり方検討委員会を開催します

- 公共施設の抱える課題に対して、今後のあり方の全体方針を検討するため、学識経験者および市民により構成された「高浜市公共施設あり方検討委員会」を設置しました。
- 委員会は公開で行い、傍聴できます。

第4回高浜市公共施設あり方検討委員会

とき 2月9日(土) 午後1時30分～  
ところ 高浜市役所 第2会議室(4階)

問合せ先 市役所経営戦略グループ ☎52-1111(内線375)